

# 仙台市都市計画マスタープラン策定に係る 市民参画

## <実施結果>

### 【目次】

1. 学生参画.....	1
①都市計画に関する勉強会.....	1
②学生ワークショップ.....	1
③学生発表.....	9
2. まちづくり専門家交流会.....	26
3. 転勤者意見交換会.....	27



# 1. 学生参画

## <学生を対象とした市民参画の目的>

- ・将来、都市で活躍し、まちづくりの担い手になる学生世代の考えを把握することを目的とする。
- ・仙台のまちづくりや、将来どのように暮らしたいと考えているのかなど、学生世代が望むまちづくりを把握することで、都市計画マスタープランの策定に活かしていく。
- ・また、ワークショップ等を通して、仙台のまちづくりに興味・関心をもってもらうことも目的のひとつとした。

## <参加者>

- ・仙台市内・近郊の大学に通う大学生・大学院生で、まちづくりに関係する学科の皆さんに参加していただいた。

東北大学	工学部	建築・社会環境工学科
	理学部	地圏環境科学科
宮城大学	事業構想学部	デザイン情報学科
東北学院大学	教養学部	地域構想学科
東北工業大学	工学部	建築学科
東北福祉大学	総合福祉学部	福祉行政学科 ほか



## ①都市計画に関する勉強会

開催日時	令和元年9月中旬～10月中旬
開催場所	各大学
参加人数	延べ約120名
概要	各大学へ訪問し、仙台市都市計画マスタープラン及び11月に実施するワークショップのテーマ・事前課題について説明

## ②学生ワークショップ

開催日時	令和元年11月9日(土) 10:30～16:30
開催場所	enspace
参加人数	34名(男性25名、女性9名)
概要	<p>各大学混合のグループでワークショップを行い、STEP1～3のワークを通して、未来の仙台のまちづくりについて議論・発表を実施</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>STEP1 理想のライフスタイルから考える、選ばれる都市の魅力</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">×</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>STEP2 普段の行動から考える、仙台の特徴、まちの強み・弱み</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>STEP3 暮らし続けたいと思える「未来の仙台のまちづくり」</p> </div> </div>

### <各グループの発表内容>

- 6グループのうち5グループが都心を対象としており、各地区の特性をそれぞれ捉えて、それらを通りつなぎ、回遊性を高めるなどの提案を行っている。
- 1グループについては市全体を対象としており、市内を大きなエリアに分けて都心と郊外との関係等も含めて提案を行っている。

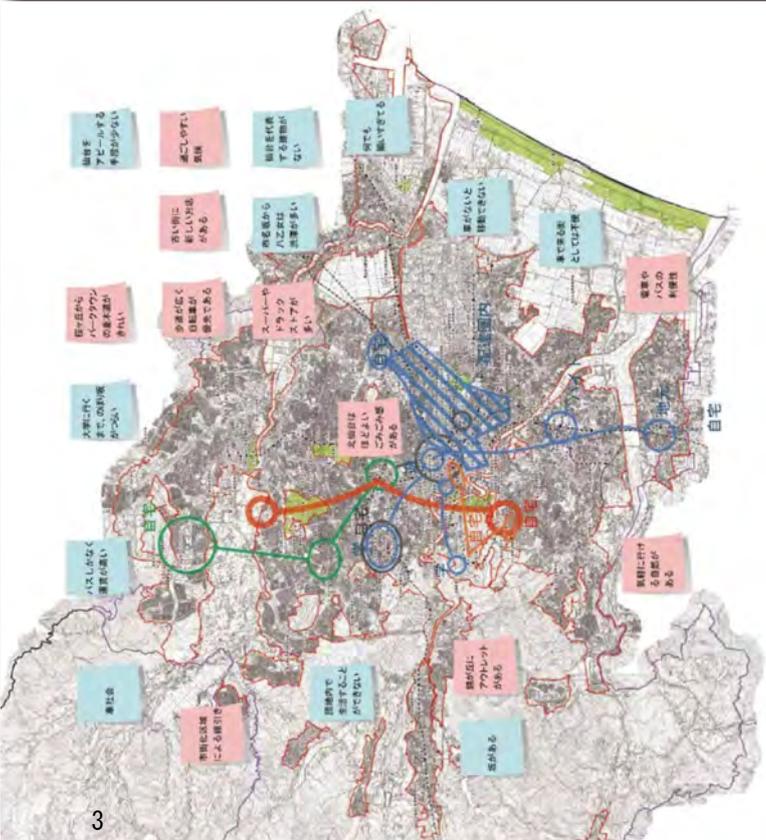
グループ	タイトル	内容
Aグループ	緑のある駅チカ生活	緑を増やし、「杜の都」をより象徴的なものにする、仙台でしか見られない街並みに！
Bグループ	〇〇にであうまち仙台 ～移り変わる杜の都～	様々なモノ・コト・人に、「出会い、楽しむ」ことができる仙台に！
Cグループ	魅力を活かす街づくり	仙台らしさ、機能集約、新しい文化で魅力を活かす街に！
Dグループ	間の自生	駅やゾーンをつなぎ、間に仙台らしさを生んで、回遊性のある街に！
Eグループ	学生によるコンパクト シティの夜明け	住宅、産業、オフィスなど職住近接のコンパクトシティを！
Fグループ	エリアごとに考えるまちづくり	エリアの強みを活かした街に！

# 緑のある駅チカ生活

## STEP1 理想のライフスタイルから考える、選ばれる都市の魅力

- ・きれいな街
  - ・留まる場所
  - ・人とのつながりがある
  - ・愛着がある
  - ・散歩したくなる、歩いていて楽しい街
  - ・機能の集約化（職場と家と駅が近い）
  - ・郊外のこともきちんと考えている
  - ・企業の本社が多い都市
- ...など

## STEP2 普段の行動から考える、仙台の特徴、まちの強み・弱み



■ 強み ■ 弱み

■ グループワークの様子

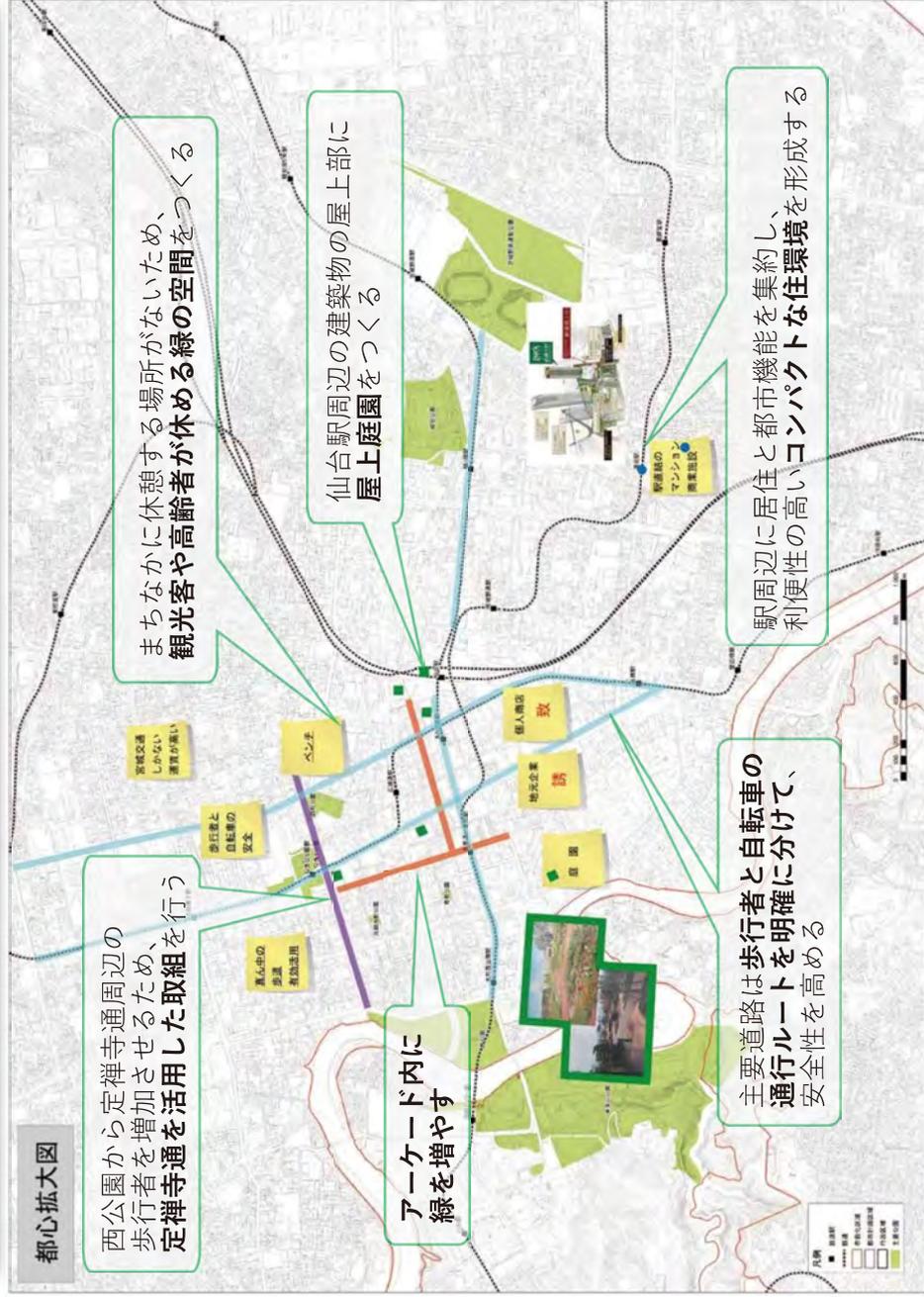


■ 発表の様子



## STEP3 暮らし続けたいと思える「未来の仙台のまちづくり」

緑を増やし、「杜の都」をより象徴的なものにする、仙台でしか見られない街並みに！



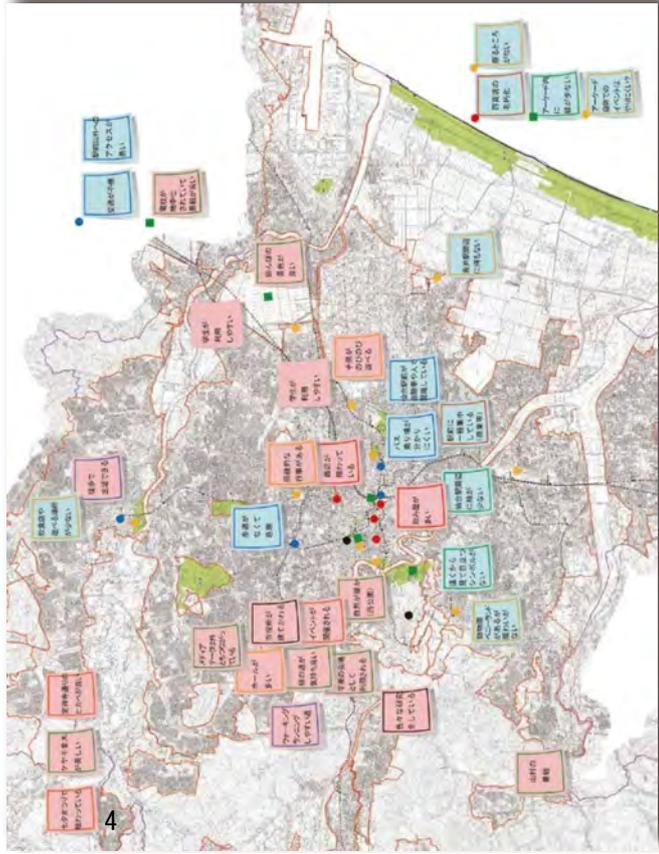
■ 定禅寺通 ■ アーケード ■ 主要道路

# Bグループ 〇〇にであうまち仙台 ～移り変わる杜の都～

## STEP1 理想のライフスタイルから考える、選ばれる都市の魅力

- ・アクセスが良い
- ・イベントが多い
- ・心地よい生活環境
- ・産業がしっかりしている
- ・長生きしても大丈夫
- ・マイナスタスが少ない
- ・歩いていて楽しいまち
- ・いろいろな体験ができる
- ・観光地が多い
- ・災害に強い
- ・魅力発掘 PR ... など

## STEP2 普段の行動から考える、仙台の特徴、まちの強み・弱み



■グループワークの様子



■発表の様子



## ・各分野の強み・弱み

	強み	自然・観光	商業	まちなか	イベント	福祉・子育て	交通	安心・安全・産業
強み	自然は多い	何でも手に入る	色々なものに会える	イベントが多い	子育て制度は整っている！	体制は整っている	基本的なインフラはOK	
弱み	観光地が少ない	大型店の老朽化	滞留空間が少ない	場所が限られている	バリアフリーが進んでいない所がある	バスの本数が少ない所もある	地震が起こりやすい	

## STEP3 暮らし続けたいと思える「未来の仙台のまちづくり」

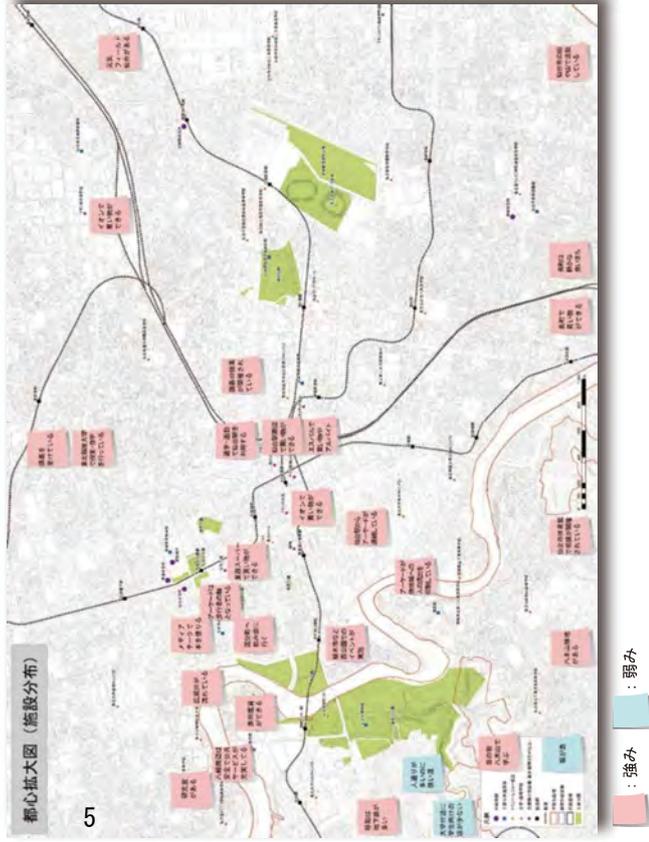
様々なモノ・コト・人に、「出会い、楽しむ」ことができる仙台に！

未来のまちづくり	豊かな自然	様々な体験を！	心地よい空間に！	より街を乐しむ！	生活しやすい街	どこにでも行きやすい	安心安全に暮らせる
未来のまちづくり	・グラントレイルだけでない植栽！ ・水辺にカフェ！ ・仙台のランドマーク（城）をPR！	・体験型の商業 ・様々な“食” ・若手が面白いお店を！	・市民が使いやすい公共空間を！ ・学生が集まれる場を！ ・人が滞留できる場所を！	・街全体を使ったイベントを！ ・AR、プロジェクションマッピングを使った次世代イベント	・福祉器具のPR ・地下鉄のエレベーター数を増やす ・ひろびろとしたトイレを多めに！	・利用者に合わせた運行状況に！ ・キャッチーな駅名に！ ・データバイクにならないデータカー、セグウェイなど	・きちんとした災害対応 ・産業の振興

STEP1 理想のライフスタイルから考える、選ばれる都市の魅力

- ・スマートシティ
  - ・街すべてを楽しめる
  - ・無秩序な都市化をしない
  - ・職住近接
  - ・通勤レスなまち
  - ・中心部を離れたら自然
  - ・良好なアクセス
  - ・公共交通など多様な移動手段
- ・グローバル
  - ・シンボル・象徴がある街
  - ・防災や福祉など安全・安心
  - ・遊びと働くが同じ場所
  - ・ふと気づくと休憩所がある
  - ・徒歩・自転車が安全な街
  - ・... など

STEP2 普段の行動から考える、仙台の特徴、まちの強み・弱み



■グループワークの様子

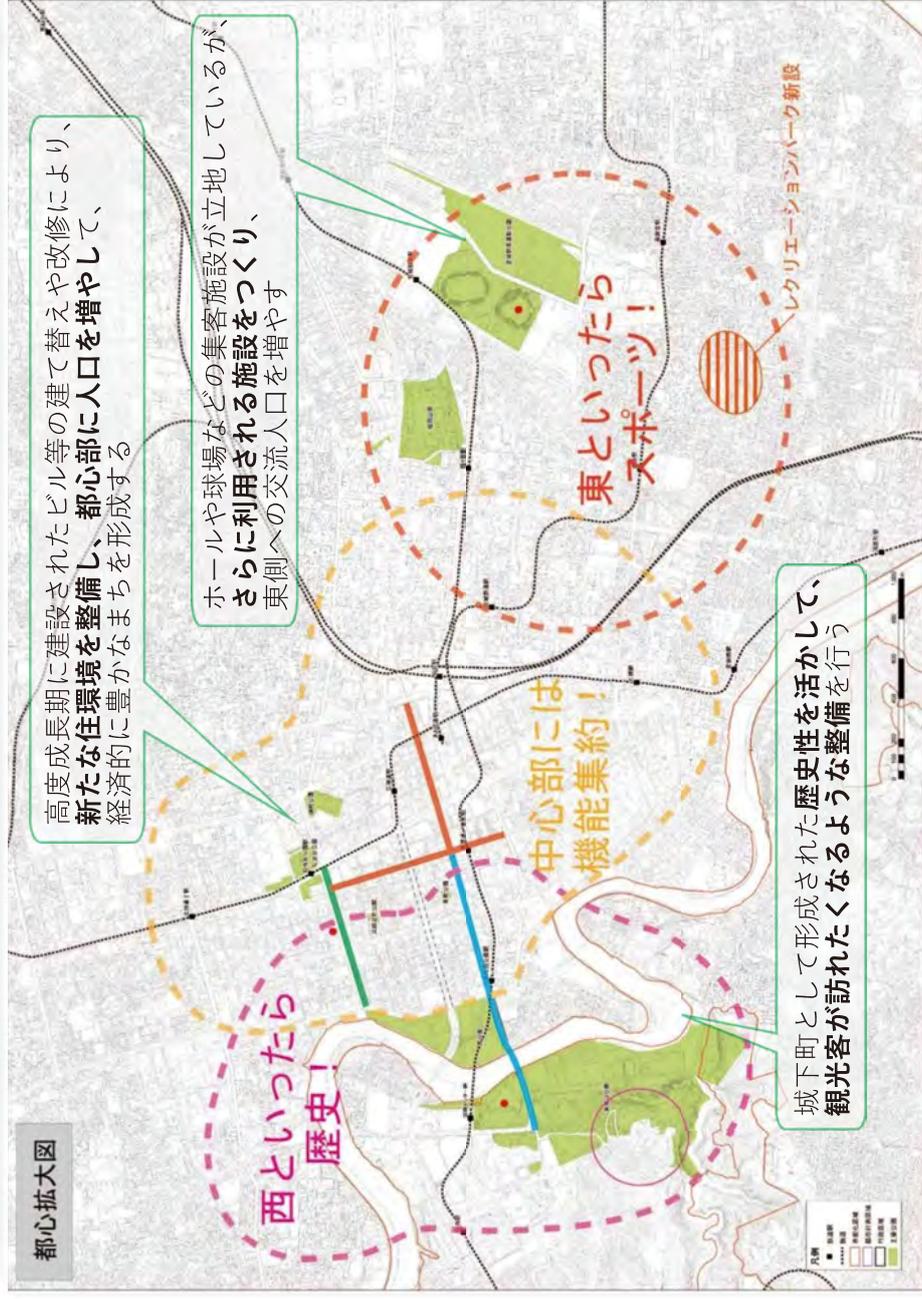


■発表の様子



STEP3 暮らし続けたいと思える「未来の仙台のまちづくり」

仙台らしさ、機能集約、新しい文化で魅力を活かす街に！



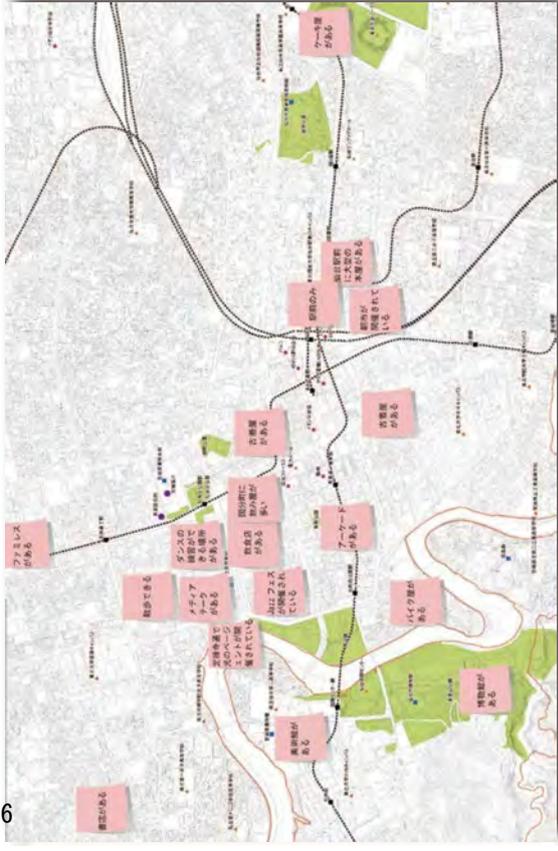
# D グループ

## 間の自生

### STEP1 理想のライフスタイルから考える、選ばれる都市の魅力

- 生活基盤となるアーケード
- シェアライド
- 公園を使う
- 間の充実
- 仙台から発信する文化
- 散らばる資源を集約
- 地元発信のイベント、自由なイベント
- 都心と拠点、観光スポットのアクセシビリティ
- 裏空間、裏路地
- 分かりやすい循環交通
- 日本人らしい外の過ごし方
- 雑多な空間
- 兼業農家 (週末農業)
- ...
- ...

### STEP2 普段の行動から考える、仙台の特徴、まちの強み・弱み



強み

グループワークの様子



発表の様子



### STEP3 暮らし続けたいと思える「未来の仙台のまちづくり」

#### 駅やゾーンをつなぎ、間に仙台らしさを生んで、回遊性のある街に！



# Eグループ

## 学生による コンパクトシティの夜明け

■グループワークの様子



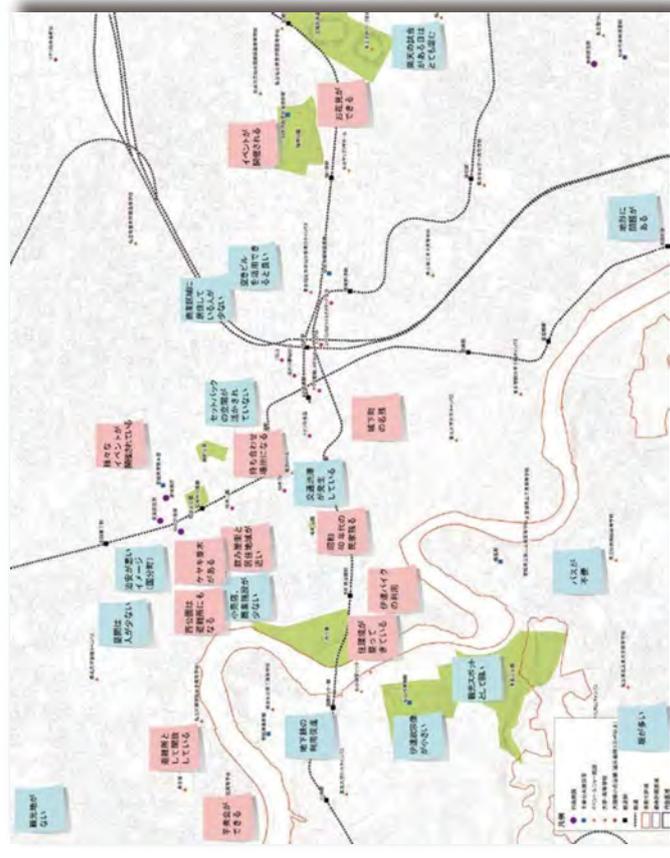
■発表の様子



### STEP1 理想のライフスタイルから考える、選ばれる都市の魅力

- ・災害危険区域の活用
- ・歩道での活動
- ・徒歩圏内で暮らせるまち
- ・パークアンドライド
- ・情報が入手しやすいまち
- ・クリエイティブを発信するまち
- ・好きなことや興味のあることを増やしている
- ・小学生から大人まで多世代が集えるオープンスペース
- ・ふらっと行く場所に出かけた都市
- ・防災・減災のしつかりした都市
- ・バリアフリーやユニバーサルデザイン
- ・全ての人が配慮した多様性のある都市
- ・バスや電車、伊達バイクが使いやすい
- ・刺激がある
- ・住民が開けるイベント
- ・都市部へのアクセスが容易
- ・人が集まれる場所がある
- ・起業家のまち
- ・...など

### STEP2 普段の行動から考える、仙台の特徴、まちの強み・弱み

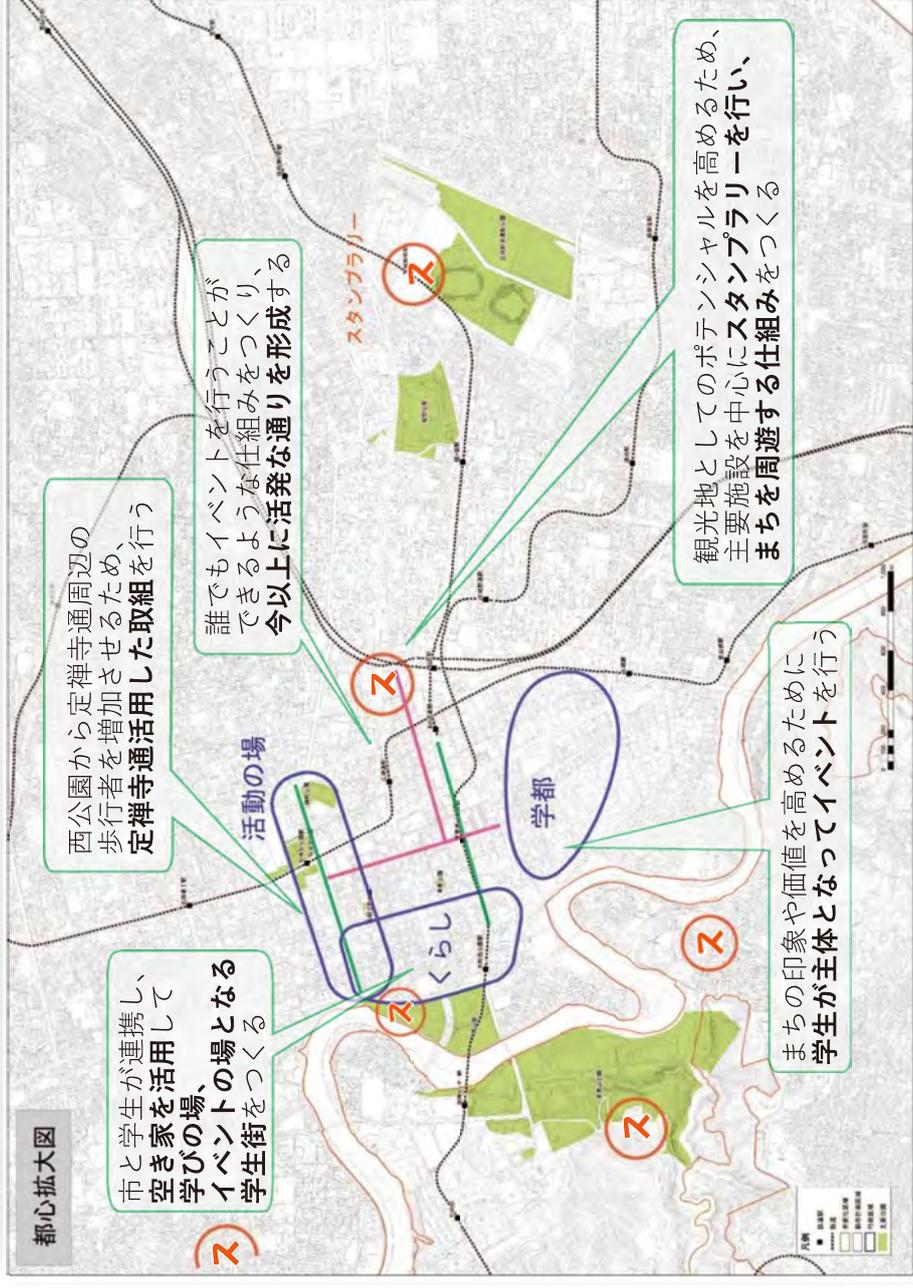


・強み

・弱み

### STEP3 暮らし続けたいと思える「未来の仙台のまちづくり」

#### 住宅、産業、オフィスなど職住近接のコンパクトシティを！



— 定禅寺通、青葉通

— アークード

Ⓢ スタンプラリー

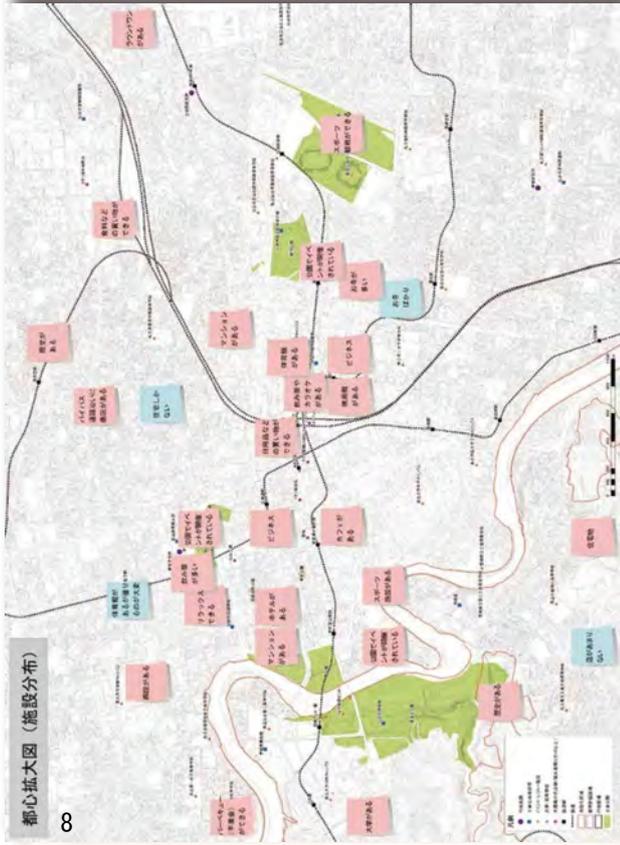
# Fグループ エリアごとに考えるまちづくり



## STEP1 理想のライフスタイルから考える、選ばれる都市の魅力

- ・ 広く、ゆったりしたまち
- ・ 歩いてすむ、車のいらないうち
- ・ 駅前以外に集まる場所
- ・ 渋滞しないまち
- ・ 地域コミュニティが充実している
- ・ 近所に住んでいる人の顔がわかる
- ・ カフェなどのオープンスペースがある
- ・ 駅までのアクセスが良い居住環境
- ・ 路地がビルで暗くないまち
- ・ 隣人と気軽に会話
- ・ 木陰で寝られる公園
- ・ 道沿いに屋台が並ぶまち
- ... など

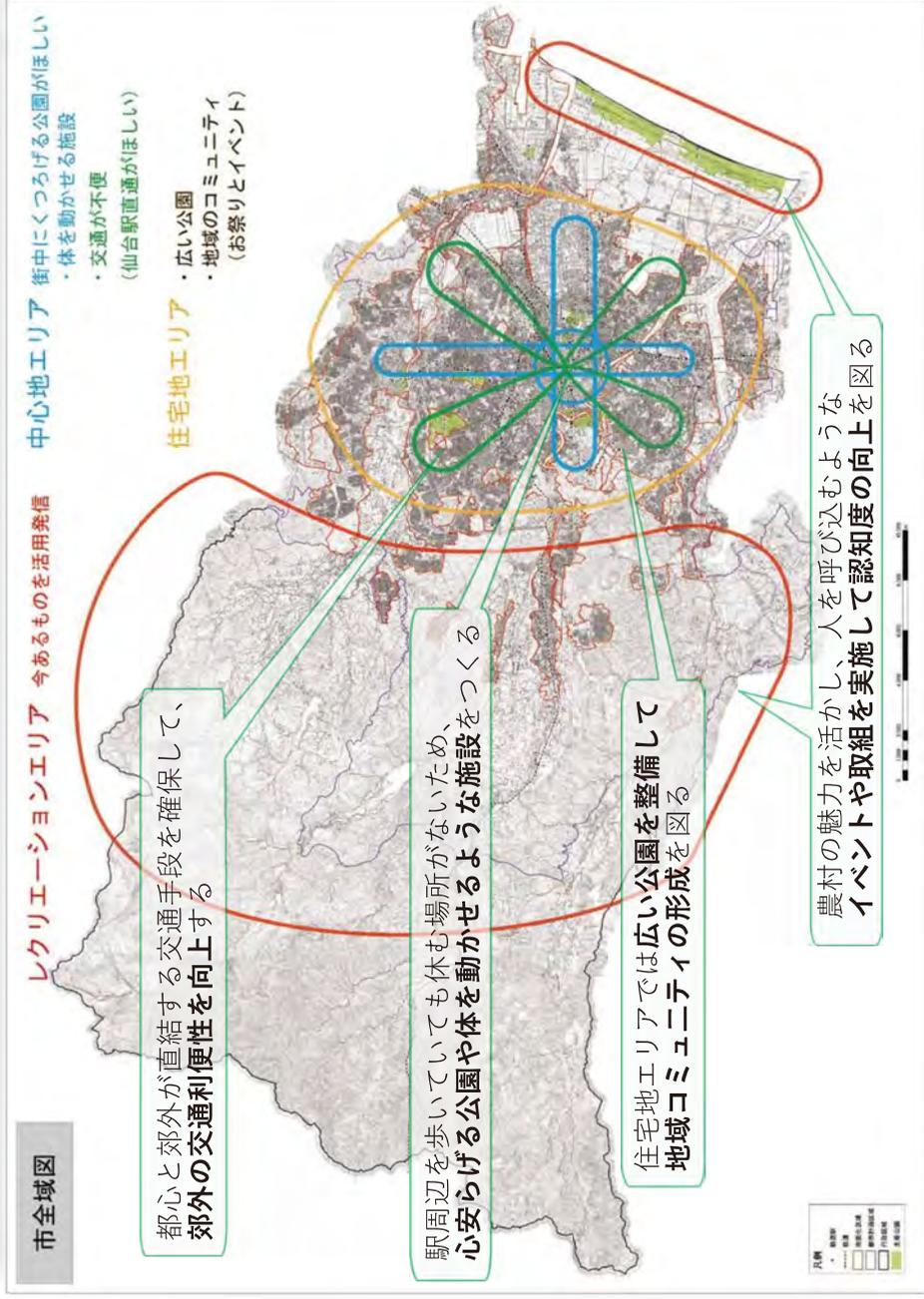
## STEP2 普段の行動から考える、仙台の特徴、まちの強み・弱み



強み 弱み

## STEP3 暮らし続けたいと思える「未来の仙台のまちづくり」

エリアの強みを活かした街に！



○：レクリエーションエリア ○：住宅地エリア ○：中心地エリア ○：交通利便性向上エリア

### ③学生発表

開催日時	令和元年 12 月 5 日 (木) 17:45~18:45
開催場所	enspace 2 階イベントスペース
参加人数	約 30 名
概要	仙台市を取り巻く状況や学生ワークショップの意見等を踏まえた「仙台の未来のまちづくり」についての提案発表会を開催 <b>発表題目：「めぐり・あう街 仙台」 発表者：東北大学計画制度学研究室</b>



#### <発表内容>

- ・「仙台市中心部の発展が仙台市全体の活性化につながる！」という視点から、提案の対象を都心部としている。
- ・まちなかへの動線の維持・強化、まちなか周辺エリアの関連機能の集約・増進を図り、各エリアの特色を強化して、環状にそれらを結ぶことにより、目的のモノ・ヒト・コトに「めぐり・あう街」を実現する将来都市構造の提案を行っている。

# めぐり・あう街 仙台

学生発表

2019/12/05  
東北大学大学院  
姥浦研究室

1. 都市の動向と策定の視点

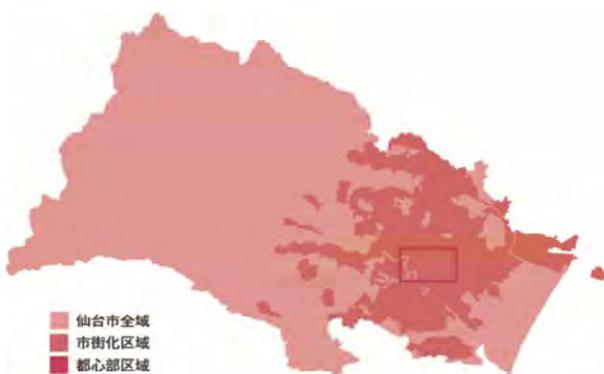
2. 都市づくりの目標像

本日の題目 3. エリア別の構想

# 1. 都市の動向と策定の視点

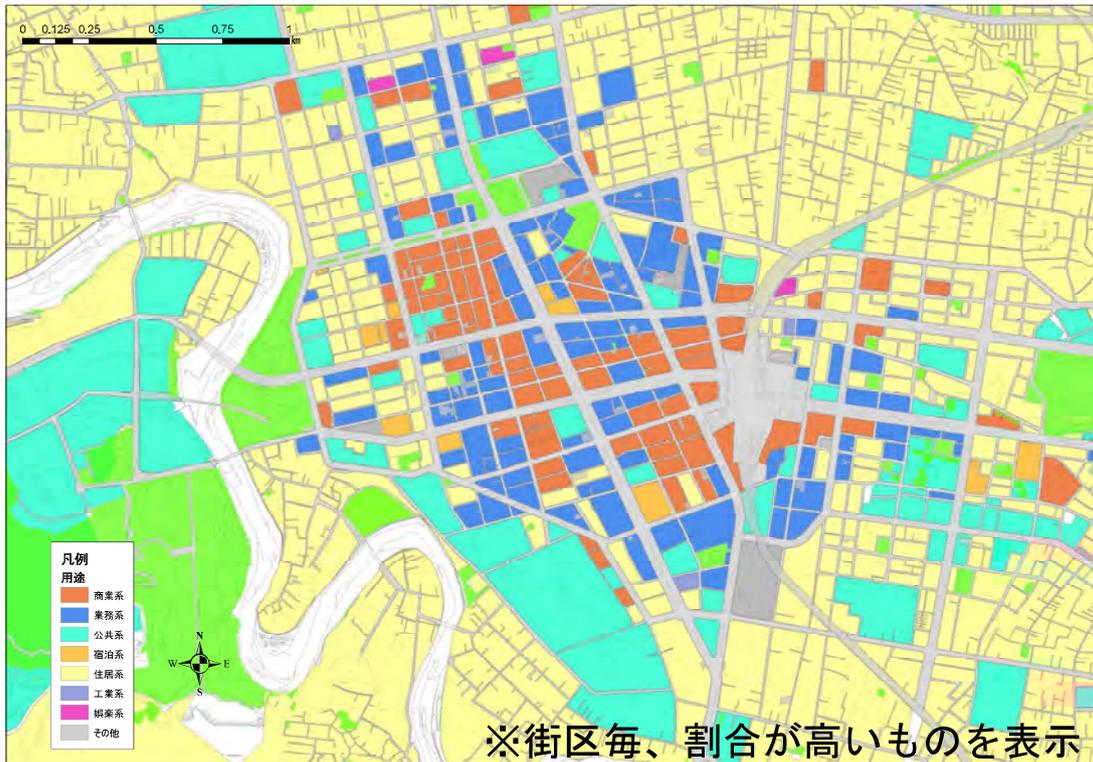
## 今回の提案のスコープ

---



**仙台市中心部の発展が  
仙台市全体の活性化につながる！**  
都市計画マスタープランの地域別構想に該当

# 中心市街地の建物用途



アーケードを中心に商業系 大通り沿いにオフィス  
中心市街地を取り巻くように住宅系が広がっている

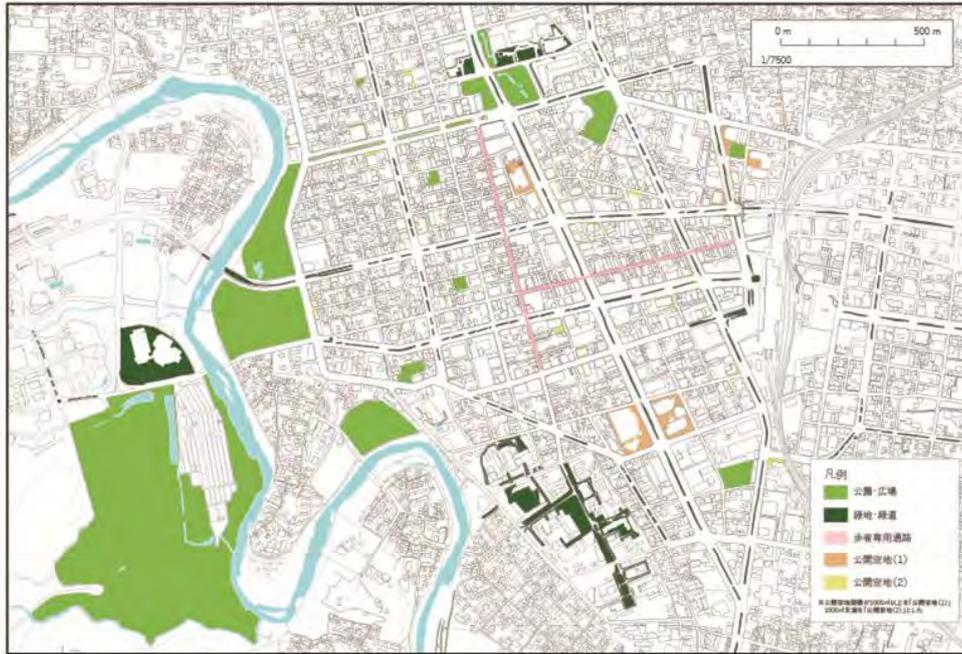
# 中心市街地の主要建物の老朽化状況



- ①藤崎  
(RC・SRC、7階、昭和7年、2030年時点で築98年)
- ②旧NHK仙台放送局  
(RC・SRC、5階、昭和37年、2030年時点で築68年)
- ③旧さくらの百貨店  
(RC・SRC、9階、昭和44年、2030年時点で築61年)
- ④NTT東日本宮城支店  
(RC・SRC、7階、昭和45年、2030年時点で築60年)
- ⑤電力ホール  
(RC・SRC、6階、昭和47年、2030年時点で築58年)
- ⑥七十七銀行本店  
(S、14階、昭和52年、2030年時点で築53年)
- ⑦イオン仙台店  
(RC・SRC、10階、昭和50年、2030年時点で築55年)
- ⑧仙台フォーラス  
(RC・SRC、9階、昭和50年、2030年時点で築55年)
- ⑨河北新報社  
(RC・SRC、9階、昭和63年、2030年時点で築44年)
- ⑩仙台第一生命タワービル  
(S、20階、昭和60年、2030年時点で築47年)
- ⑪仙台三越本館・定禅寺通り館  
(RC・SRC、8階、昭和62年、2030年時点で築45年)

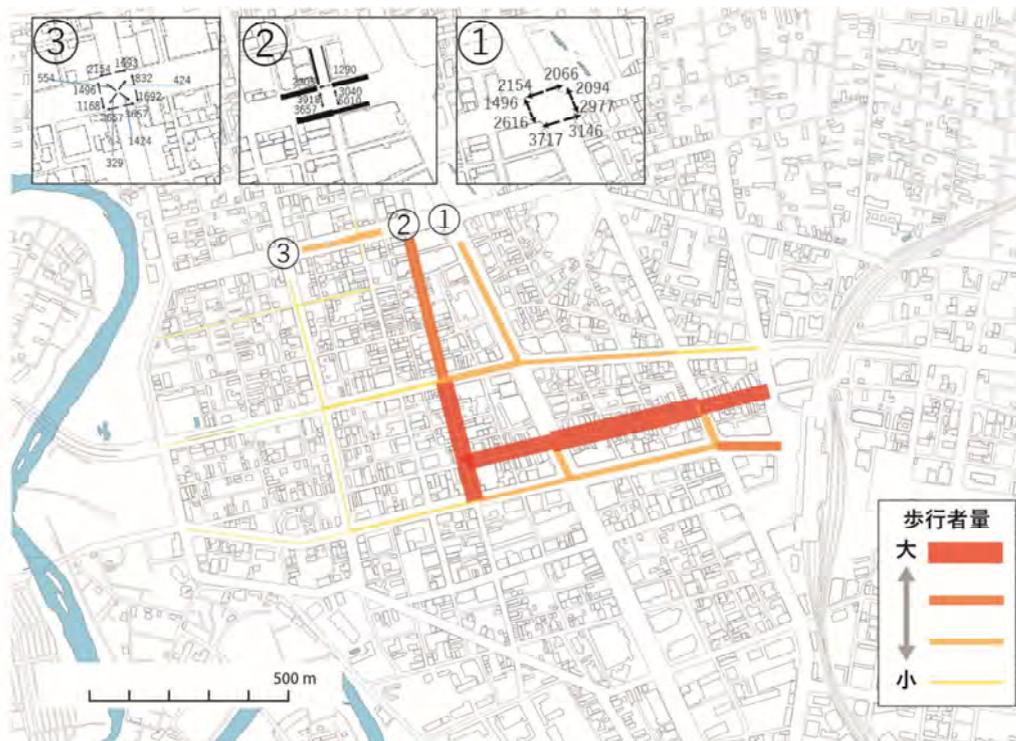
- ・ 藤崎・さくらの・フォーラス・三越など  
商業の中心的役割を果たしてきた建物の老朽化が目立つ
- ・ 定禅寺通り沿いの公共施設の老朽化

# 中心市街地の緑の配置状況



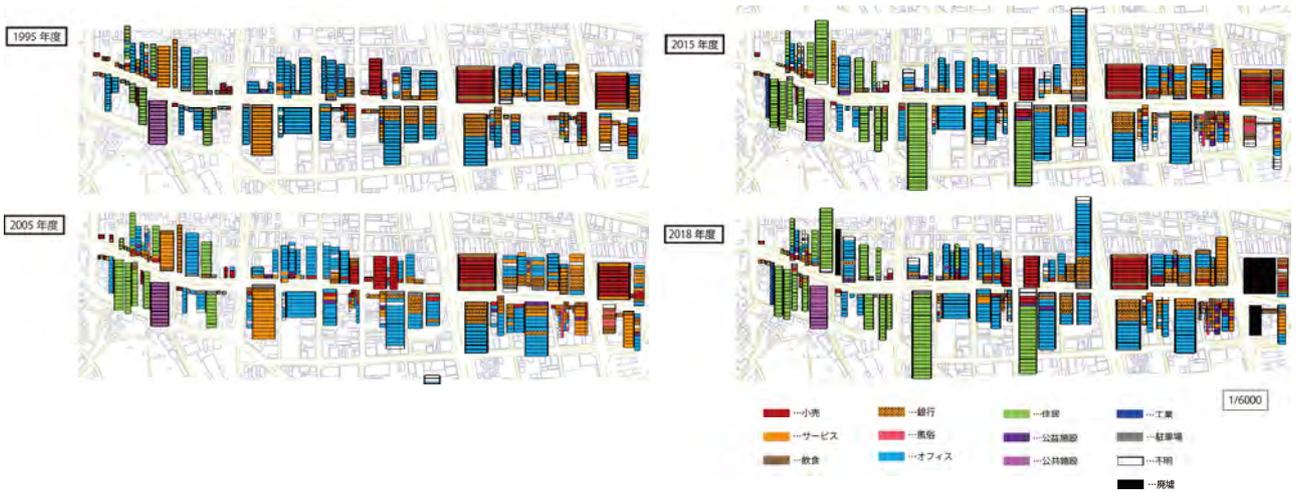
勾当台公園・市民広場や西公園など  
中心市街地の近隣には、大きな緑の空間が存在している  
仙台駅やアーケードからはやや遠い

# 主な道路の歩行者・自転車交通量



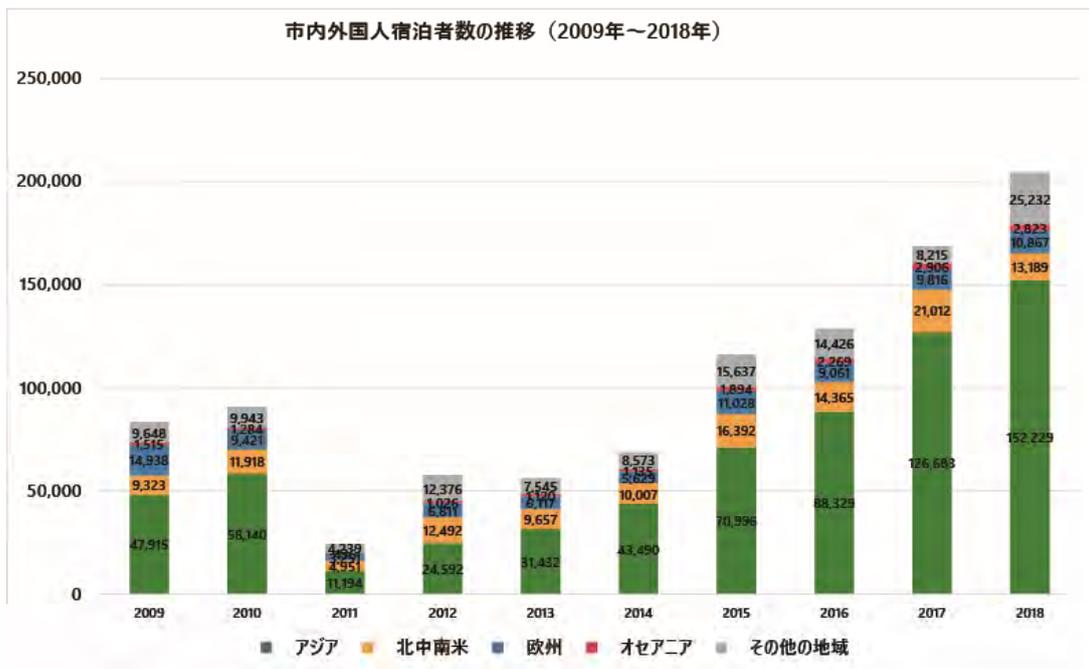
人の流れがアーケードで止まっていることが分かる

# 青葉通り沿いの建物用途変遷



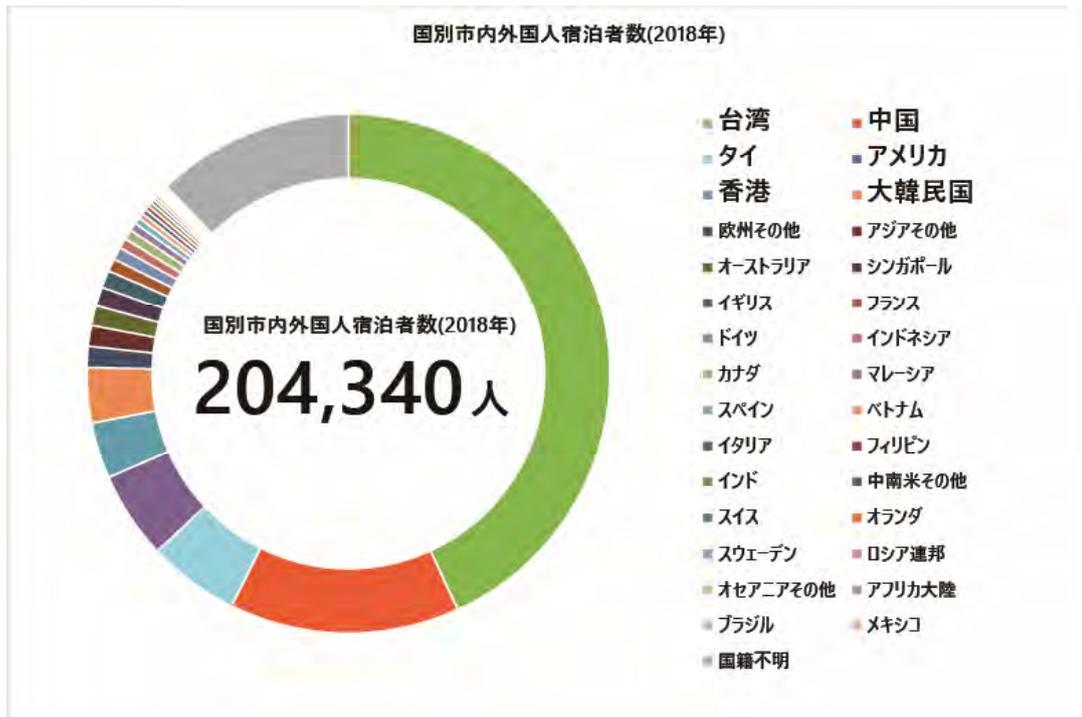
1995年にはオフィスがそこそこ立地していた  
 西公園側に大規模なマンションが立地してきている  
 ▶用途混合によるエリアイメージの喪失の可能性あり

# 仙台市のインバウンド状況



外国人観光客は、東日本大震災の発生後は一時減少したが、その後は増加傾向にあり、現在では約20万人が市内に宿泊

# 仙台市のインバウンド状況



1番が台湾であり、約43%を占める  
その他もアジアの国からのインバウンドが大きい

## 現状分析まとめ

### 全体

- ・現状の都市構造は街路を軸としてエリアを形成
- ・大型建物の老朽化による、エリアの特色喪失の可能性あり
- ・仙台市を訪れる外国人が増えている

### 定禅寺通り

- ・市民会館・県民会館・市役所などの公共施設の老朽化  
→建物がなくなると目的地がなくなってしまう

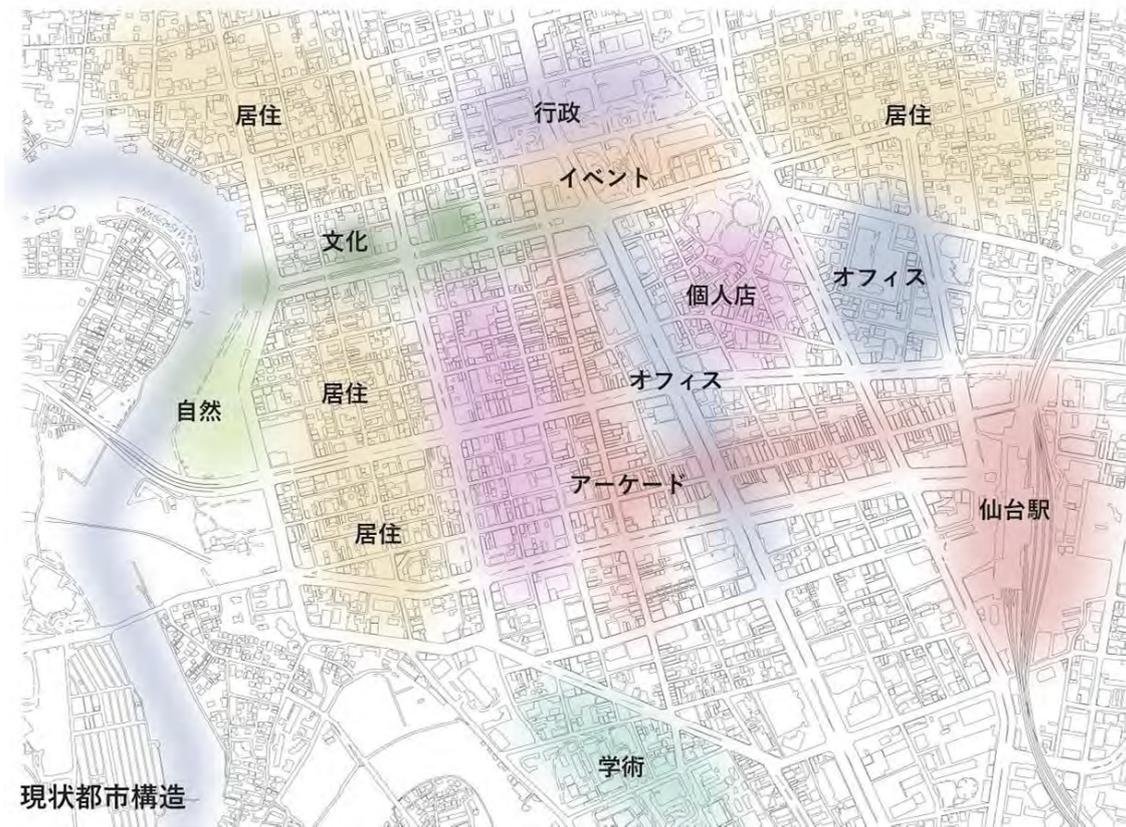
### 西公園

- ・大型の緑の空間が整備済み
- ・駅やアーケードから目的を持って歩いてくる人は少ない

### 青葉通り

- ・用途混合によるエリアのイメージの喪失の可能性あり
- ・西公園側を通る歩行者は少ない

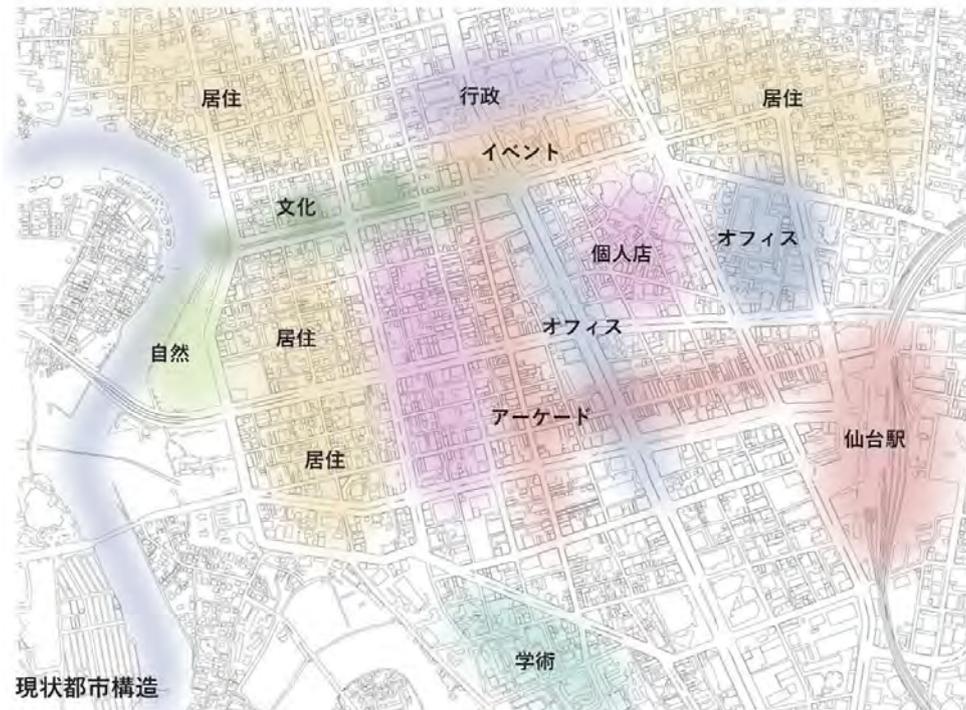
# 現状都市構造



## 2. 都市づくりの目標像

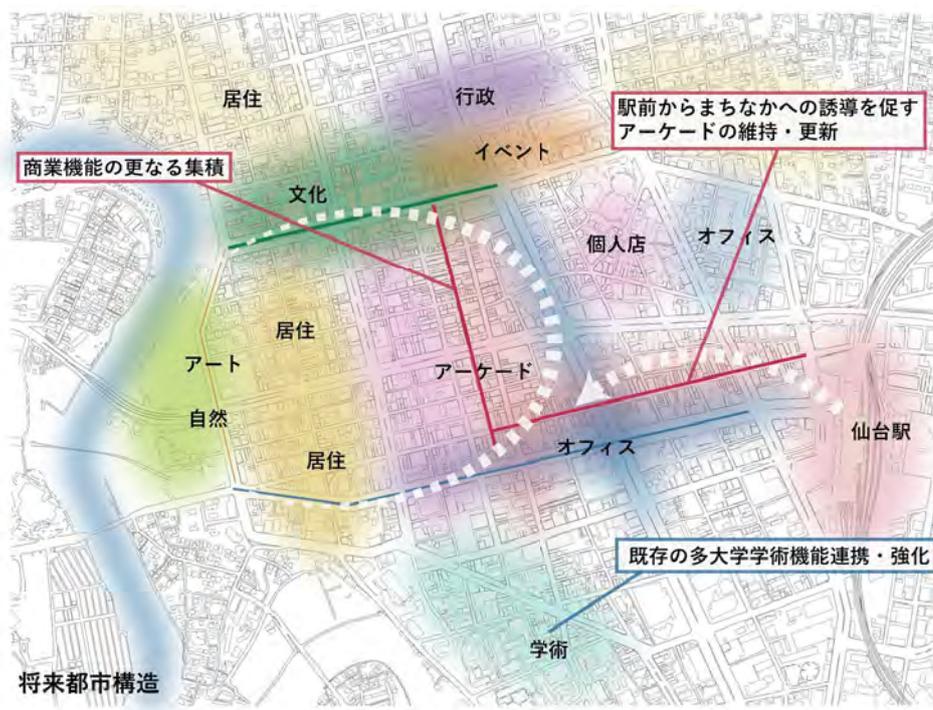
# 現状都市構造

多様な機能が散在・それぞれの関係が曖昧  
老朽化によって個々のエリアの特色が失われる可能性



# 将来都市構造

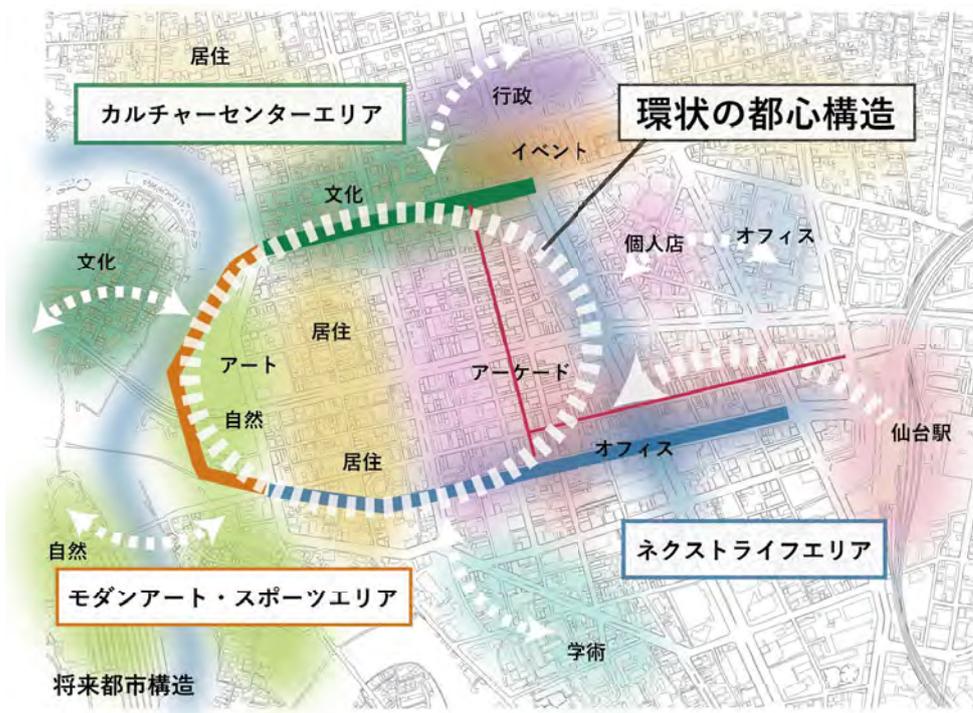
既存のまちなかへの動線を維持・強化  
まちなか周辺エリアの関連機能の集約・増進



# 将来都市構造

エリアの特色を強化し、環状にそれらをつなぎ

目的のモノ・コト・ヒトに「めぐり・あう街」を実現



## 「まち」に求めるもの



家と仕事場の往復、  
まちを使うのは飲み会くらい…

**職場ではなく街で働く！  
新しいライフスタイル！！**



隣近所と関わりがない、  
マンション暮らしは孤独…

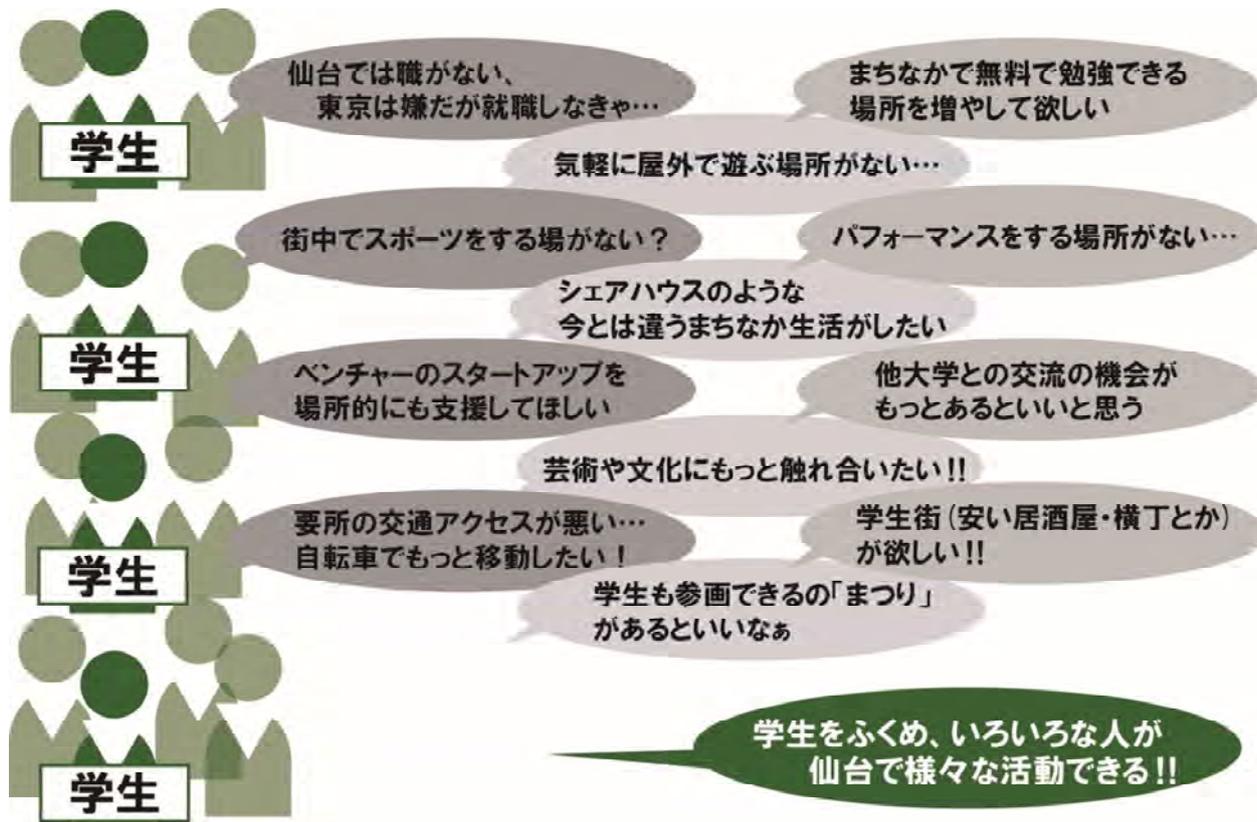
**まちで繋がりが作れる！  
多世代コミュニティ！！**



観光地は街の外、  
まちなかに行く機会がない…

**まちなかが観光資源！  
めぐるだけで楽しめる！！**

# 「まち」に求めるもの

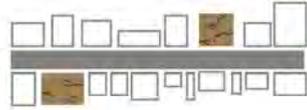


## 3. エリア別の構想

# エリア別構想—操作

I

現状



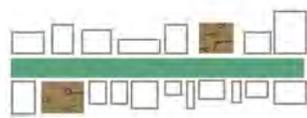
通りの特色が薄れ、主要施設が老朽化



公共主導で各通りに対して特色のある街路空間の整備

II

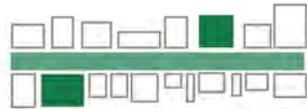
具体施策



街路の特色に合わせて  
公共建築物を更新・新築  
民間の老朽化建物更新を全面的に支援

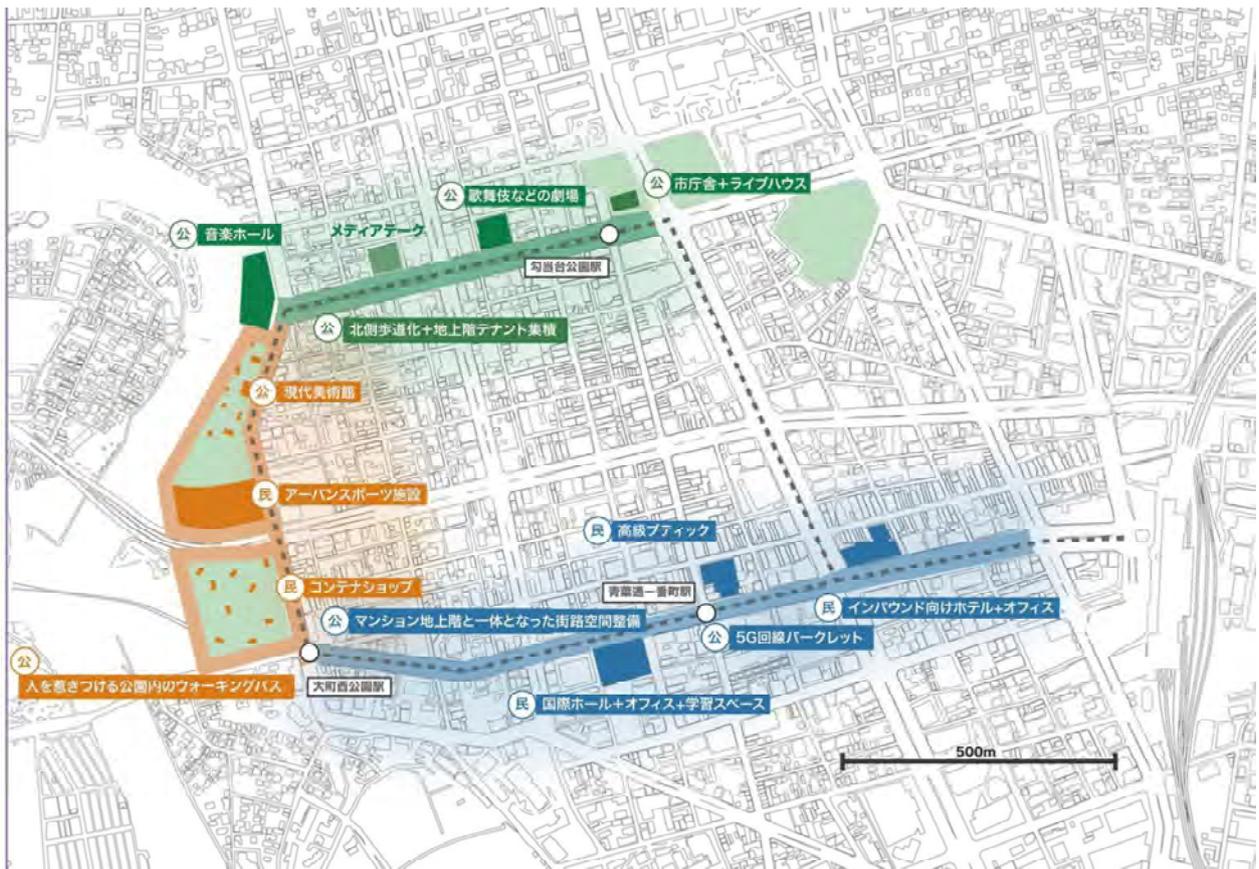
III

波及効果



地元企業にインセンティブを付与し  
特色に合ったテナントが集積し  
エリアを形成

## 具体整備計画—3エリア



# カルチャーセンターエリア(定禅寺通)

I

## 現状

けやき並木に囲まれた歩行空間、文化施設が集積している  
日常的な屋外利用が少なく、通過のための動線となっている



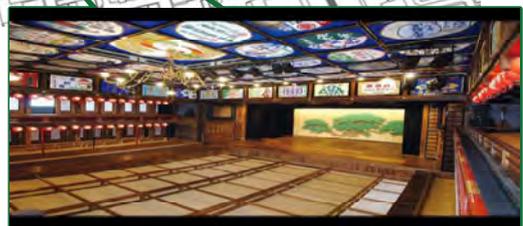
II

## 具体 施策

文化が入り混じり賑わいのある空間を創出するために  
文化的機能の強化、定禅寺通りの完全歩道化を行う

- 巨大音楽ホール・ライブハウスを設置する
- 屋外テラス・屋台が集う、通りの外部空間を充実させる
- 屋外空間を一体的に利用した店舗を整備する

# カルチャーセンターエリア(定禅寺通)



## カルチャーセンターエリア(定禅寺通)

### Ⅲ

#### 波及効果

古着屋、カフェ、レストラン、小規模ライブハウスの充実  
通り・建物を一体的に活用した市民参画イベントの開催



音楽や食、文学や服飾など様々な文化を混在  
目的がなくても足を運びたくなるような  
世代を問わず人々が訪れる、活気あふれた通りの形成

## モダンアート・スポーツエリア(西公園)

### I

#### 現状

広大な敷地と緑に満ちた空間  
イベントの開催地、花見広場としての利用  
恒常的な集客要素が少ない



### Ⅱ

#### 具体 施策

様々な人が集まる活動の場を創出するために  
アート空間の集積、スポーツ・若者向け施設を整備する

- ギャラリー、パビリオンを点在
  - ▶ 人々が立ち寄るアート空間
- スケートパーク、バスケットコート、パルクールの設置
  - ▶ スポーツエリアとして若者が集う
- コンテナを利用したポップアップショップ
  - ▶ 若手経営者の挑戦場、賑わいの空間

## モダンアート・スポーツエリア(西公園)



## モダンアート・スポーツエリア(西公園)

### Ⅲ

#### 波及 効果

ギャラリー、工房、創作WSなどのアートの場を形成  
スポーツの場としての活動、専門店の集積  
コンテナショップから恒久店舗への発展



アート・スポーツ・ショップ  
異なる3つの用途を集積し、  
仙台駅前エリアの対となる西側の拠点を形成

# ネクストライフエリア(青葉通)

I

現状

緑あふれる広い歩道が整備されている  
住居、オフィスが混在し、人が集まる通りである  
青葉通には人が少ない。



II

具体  
施策

新しいライフスタイルを提供するために  
職・商・住機能の向上、周辺用途に付随した滞留空間の創出

- 大規模ホテル、ブティックの誘致
  - ▶インバウンド、県外からの観光客に対応
- 国際ホール、大規模オフィス、5Gパークレットの設置
  - ▶様々なビジネスシーンでの活用を提供
- 道路空間を活用した住民向けイベント開催
  - ▶マンション間のコミュニティ促進

# ネクストライフエリア(青葉通)



# ネクストライフエリア(青葉通)

## Ⅲ 波及 効果

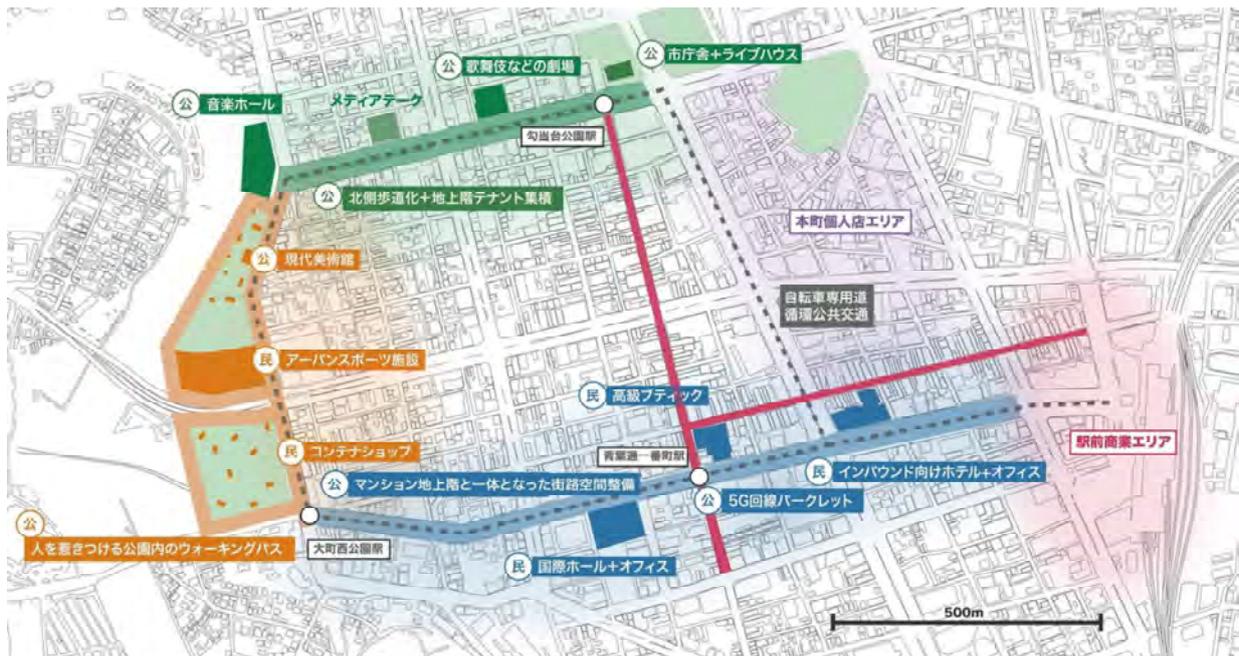
リノベコワーキングスペース、沿道での企業イベント  
ランチ・バー・レストラン、伝統工芸品ショップ  
託児所・コミュニティスペース、学習スペース



老朽化施設の機能更新、

周辺用途に合わせた滞留空間の創出により  
職・商・住共に新しい過ごし方の形成

## 具体的な将来整備像



エリアの特色を強化し環状の都市構造でそれらを結ぶ  
▶目的のモノ・コト・ヒトにめぐり・あう街の実現を!!

## 2. まちづくり専門家交流会

開催日時	令和元年 10 月 23 日(水) 13 時 30 分～16 時 00 分
開催場所	パセオ 6F TKP 仙台勾当台公園会議室
参加人数	19 名
概要	市からの事業報告や参加者からのまちづくり活動の報告等の後に、『未来の仙台のあるべき姿・仙台のまちづくり』をテーマとして意見交換を実施



### <未来の仙台のあるべき姿・仙台のまちづくりの主な意見>

- ・まちづくり専門家の視点から仙台らしさを文化や交通、環境等から捉えており、まちづくりとして重点的なところには投資すべきなどの意見が出されている。

分野	意見
特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京を目指す必要はない。仙台らしさが重要。</li> <li>・ 福岡や名古屋などと比較すると、まちづくりに関する補助や施策が弱い。他都市は、お金を投入するポイントがはっきりしている。</li> </ul>
経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活、文化、緑も大切だが、経済にもっと力を入れるべき。</li> </ul>
都心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お金をかける場所(駅前)とリノベで対応する場所のメリハリが大切。</li> <li>・ 都心部は老朽化しているがアーケード側は工事が難しい。共同化して建替えなどの検討が必要では。</li> <li>・ 青葉通りや定禅寺通りの太い骨格としての道路やそのまわりにしっかりとした街区があるのは財産。</li> </ul>
文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伊達の文化をもっと見せてはどうか。見せ方でもっと仙台をアピールできる。</li> <li>・ 外国人は伊達正宗の印象が強いようだ。また、いろは横丁などにつれていくとかなり喜ばれる。</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市バスと宮交がダイヤ調整すれば、もっと使いやすくなる可能性がある。事業者自ら調整するのは難しいので行政が主体で調整すればよいのでは。欧米のように「歩いて生活できる街」を作るのに税を投入すべき。</li> <li>・ 公共交通だけでなく、モビリティの問題。ライドシェア等で移動範囲を拡大し、厚みのあるまちづくりを。</li> </ul>
広域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共施設や医療機関の役割分担を自治体の垣根を越えて都市圏で考えるべき。</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園などはやはりほしい。人が集まるコアのようなものが必要。</li> <li>・ 仙台は清潔なまち。緑被率は低いが緑視率は高い。それはよいと思う。</li> </ul>
協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きな再開発だけでなく、小さなまちづくりに対する支援も必要。</li> <li>・ 市民協働は縦割りではなく、横串を刺してほしい。</li> </ul>

### 3. 転勤者意見交換会

開催日時	令和元年 12 月 3 日（火） 19：00～21：00
開催場所	上杉分庁舎 2 階第 2 会議室
参加人数	14 名
概要	『他都市と比較した仙台市の特徴（強み・弱み）について』、『これまでに暮らした都市で感じた魅力について』、『これからの仙台のまちづくりについて』をテーマにして座談会を実施



#### <転勤者意見交換会における主な意見>

- ・子育てのしやすい環境や子どもの教育環境の充実により、家族で住みたい街にすることが重要という意見が出されている。
- ・来訪者や若者に愛される街となるため、魅力的な人と出会える溜まり場づくりや夜の賑わいが重要という意見が出されている。

#### ■他都市と比較した仙台市の特徴（強み・弱み）について

強/弱	意見
強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生が多く、賑わいがある。</li> <li>・ 程よく都会で住みやすい。</li> <li>・ 便利。コンパクト。通勤時間が短い。東京ではできない暮らしができる。</li> <li>・ アーケード商店街がにぎわっている。</li> <li>・ 地下鉄など、公共交通がとても便利になった。</li> <li>・ 仙台駅に集まりさえすれば、どこにでも行ける。</li> <li>・ 東京との距離が近い。1 時間半で行くことができる。安心して赴任できる。</li> <li>・ 仙台は人が良い、人が魅力と思っているが、誰と出会うかだと思ふ。人はストーリーがないと惹かれない。</li> <li>・ 自然が多い。車で 10～15 分でリフレッシュできる。空気がおいしい。</li> <li>・ 東京や東北各地から人が集まる。</li> <li>・ 夏涼しい。過ごしやすい。</li> <li>・ 直線の街路のため街の動線がわかりやすい。</li> <li>・ 野球やサッカーなどスポーツが街とひとつになっている。</li> </ul>

強/弱	意見
弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マチナカに溜まれる場所がない。</li> <li>・ 中途半端に都会なので、近所付き合いがなく、地元の人との交流が持てない。</li> <li>・ 公共交通は便利ではあるが、一度仙台駅を経由しなければならない。</li> <li>・ 観光の面で、市内で見せるものがつましい。</li> <li>・ 東京との距離が近いので、週末に東京に帰ってしまう。</li> <li>・ 物件が少なく古い。選択肢が少ない。</li> <li>・ 仙台といえば「〇〇」という具体的なものがない。目玉がない。</li> <li>・ サービスの種類が少ない。</li> <li>・ 車がないと生活しづらい。</li> <li>・ 熟考しがちで瞬発力が低い。</li> </ul>

### ■これまでに暮らした都市で感じた魅力について

場所	意見
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特色のあるエリアがあること。伝統と新しいもの。長期/短期、時間帯による魅力の打ち出し。</li> <li>・ 回遊性があること。そうすると、人が街に出て、賑わいが生まれる。</li> <li>・ ストレスが少ないこと。街が清潔なこと。におい、ビル風がないこと。ストレスがないと暮らしやすい。</li> <li>・ 歩いていてわくわくするような街。知らない人と出会う、人間同士がつながるような環境（バーなど）のある街。</li> <li>・ 街の飲食店が出店するチケット制のバルイベントがある街は、こんなお店があったのか！という発見があってよかった。</li> <li>・ 長期で滞在したくなる都市。夜の楽しく過ごせる街は宿泊する。</li> </ul>

### ■これからの仙台のまちづくりについて

分野	意見
特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「東京」を意識するのではなくアジア等の海外目線での「東北」意識を持つ。</li> <li>・ 綺麗すぎて、ディープさがない。深さが欲しい。</li> <li>・ 東京に出て行ったとしても、戻ってくる場所になるといい。</li> </ul>
空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的地に向かうだけになっているので、途中で寄り道ができるといい。</li> <li>・ エリアごとのブランディング。切り取り方/見せ方を上手く。</li> <li>・ 仙台の不動産は高すぎる。だから路面店はチェーン店ばかりになってしまう。</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二次交通。日々の交通として、使いやすいもの。ダテバイク/カーシェアのような、セグウェイ、電動キックボード。</li> <li>・ 他の街からくる人に対してやさしい街になる。特に交通には何に乗ればどこに行くのかがわかりやすいようにする。</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然や、ストレスの少ない環境は継続して守っていく。(ケヤキ並木等)</li> </ul>
人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仙台は常に人が入れ替わる。その人たちが短期間で仙台を好きになれるように、溜まれる場所があるといい。</li> <li>・ 人の持っているストーリーに惹かれるので、ストーリーを見せる。人とインフラが組み合わせられるといい。</li> </ul>
仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンパクトなので、何か行動を起こせば繋がっていく規模感。</li> <li>・ ハードもソフトも、やりたいことをやりやすい仕組みづくりを。</li> </ul>

分野	意見
働く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分をPRしやすいし、異業種交流もしやすい。</li> <li>・ 若者が起業、挑戦できる街。</li> </ul>
若者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者に愛される街になってほしい。夜の賑わいや子育てのしやすい環境が残りたいと思わせる。</li> </ul>
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族で住みたい街にする。子どもの学力・教育が重要で、教育のICT化などは効果的。子供に教育用タブレットを配る事例等がある。</li> <li>・ 子供の成長を応援する街。フィンランドの税制は子供への投資が大きい。</li> </ul>
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長期で滞在したくなる都市。夜の楽しく過ごせる街は宿泊する。</li> <li>・ 訪れる人が「周遊」できる環境。イベント発信などでまちを周遊してもらい、再訪者を増やす。</li> </ul>